

湘南つばさの家 支援会 通信

「羽包み(はくくみ)」

第四号 (不定期発行)

平成21年12月15日

〒253-0022 神奈川県茅ヶ崎市松浪1-12-17

自立援助ホーム「湘南つばさの家」

電話・ファクス 0467-58-6260

E-MAIL shonan-tsubasa@marble.ocn.ne.jp

URL <http://www.shonan-tsubasa.com>

〔ご送金は ゆうちょ銀行 振替口座 00200-5-81277へお願いします〕

「未来に希望と夢を掲げて」

ホーム長 前川 礼彦

湘南つばさの家は12月1日を持ちまして、丸3年が過ぎました。

振り返るとこの3年間で12名の少年たちと出会い、8名の少年たちがホームを巣立っていきました。そしてホームを支えて下さる支援者が一人二人と集まり、今では百名以上の方々が応援をして下さっています。そしてつばさの家の活動が広まり、神奈川県内でも自立援助ホームが増え、社会で暮らす少年たちを支える輪が少しずつ出来つつあります。

ホームを開設するとき、何とか3年間で形にしていきたいと志を抱きました。しかし何も保障や蓄えがない中、本当にやっていけるのか情熱が揺らぐときもありました。少年たちの爆発的な怒りでホームが崩壊しかける程の危機的場面に遭遇したこともありました。しかしそれでも諦めずに関わりを続けていくと、彼らが変わっていく過程を垣間見られることがあります。一年前は働く気もなかった少年が今では頑張っている。自分で考え行動することが苦手だった少年が随分たくましくなり、何とか社会で生きている。人間は変わるんだということを目の前で実感させられます。同時に彼らが育ってきた十数年が短期間で癒され、簡単に変わっていくものだとは思いません。自身を知る人生の旅に長い年月かけて付き合い、見守っていくことで初めて変われることが一つでもあれば良いのです。だからこそこの仕事は長く続けていく必要があるのです。

今日一日、自分がやれることを地道に行い、スタッフと力を合わせ、支援者に支えられて、一日一日を積み重ねるように現在まで歩んできました。その結果、この3年間でつばさの家の基盤が確かに作り上げられたと思います。本当に支援者の方々のお力添えのお陰様です。

4年目を迎え、つばさの家は新たな発展に向けて歩んでいきたいと思えます。

少年たちの未来が明るい社会になるために、日々の暮らしにはこんなことが必要だな。彼らが生きていく社会にはこういうことがあったら良いなと夢やアイデアを膨らまし、一歩ずつ実現に向けて歩んでいかれたら、それはとても幸せなことです。

少年たちに暖かい暮らしと人の繋がりを提供し、一人でも多くの社会の皆様と力を合わせ、「夢と希望が持てる社会」を作り上げていければと願っています。

今後とも湘南つばさの家へのご支援を宜しくお願い申し上げます。